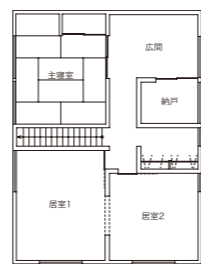


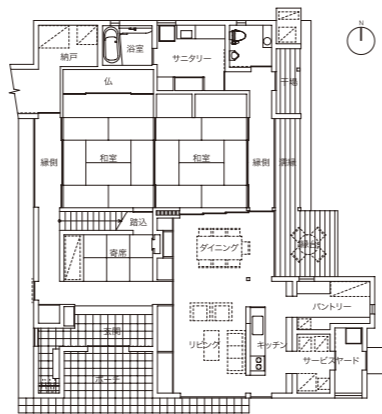
地域固有の風土・習慣から生まれた民家で
自然と調和した心豊かな生活



Before



2階平面



1階平面 縮尺1/300



■越前の家

所在地 福井県越前市
 主要用途 専用住宅
 家族構成 夫婦+両親+子供3人
 設計 梶浦博昭環境設計事務所
 施工 ASJ福井スタジオ (新保興業株式会社)
 構造・構法・規模
 在来木造工法
 地上2階
 延床面積 232.55㎡
 竣工 2012年9月

越前和紙の産地の程近くに建つ築六〇年の民家改修です。地域固有の風土や習慣から生まれた民家には、自然環境とうまく付き合っていくための意味があり、その佇まいは力強く美しさを感じます。これまでのリフォームで取り付けられたアルミのベランダやサンルームを撤去し、耐震補強を施しながら白壁と古材の美しい表情の再現を図りました。内部においては、全てを壊すことなく、使える場所や記憶として残したい場所は、建主にとって大切な場所となるので積極的に残し、共存を目指しました。また、地産工芸である一五〇〇年の歴史を持つ越前和紙を壁・天井の全面に張り、和紙の柔らかさと地域の歴史・文化が優しく家族を包み込む場となりました。

民家の力強く美しい姿と地域性・自然環境との調和を受け継ぎながら、長く家族の生活を維持・向上させることのできるサステイナブルな建築を提案いたしました。

(梶浦博昭)

第31回住まいのリフォームコンクール
「国土交通大臣賞」受賞

「越前の家」(設計:梶浦博昭環境建築設計事務所)が第31回住まいのリフォームコンクールにおいて、最優秀賞である「国土交通大臣賞」を受賞。応募総数五九三件のなかから、特別賞5作品をはじめとする入賞33作品が選ばれ、その中で最高受賞となった。

この作品は、越前地方の伝統的様式の建物の良さを活かし、地場産の自然素材を用いながら、家族が集まる快適なスペースを作ることを主眼としたリフォーム事例。伝統建築の様式美を回復させるとともに、居住性能を高めた、バランスの優れている点が評価された。